

第十六号の二十一様式（用紙日本工業規格A4）（第八条の二十八関係）

記入例

受付印

※処理事項	審 査				承 認	交 付
	課長	担当リーダ	課員	担当	リットル	

令和 ○年 2月 23日 県税・総務事務所長 殿	免税軽油の使用に係る事務所又は事業所所在地	宮崎市橋通東8丁目9-10
	業 種	農業等
	免税軽油使用者証の番号及び氏名（名称）	宮崎県 第 123456 号 農事組合法人 県庁畜産 代表 宮崎 太郎
	この申請に应答する係及び氏名並びに電話番号	県税 花子 (電話 0985-26-0000)

免税証交付申請書

機械、車両又は設備名（番号）	No. 1 トラクター	No. 2 トラクター	No. 3 ホイロローダー
	No.	No.	No.

新規申請時や業種等により、計算期間が異なります。

所要数量合計	1.940 リットル	所要数量計算期間	令和 ○年 4月 1日 から 令和 □年 3月 31日 日まで
--------	-------------------	----------	------------------------------------

希望する販売業者名及び所在地	免税証の種類	枚数	数量	※処理事項
(株)ひむか石油 橋通給油所 宮崎市橋通東6丁目7	リットル券		リットル	
		10	4	40
		100	1	100
		200	9	1.800

免税軽油を購入する販売業者の名称等を記入してください。（新規で取引を行う販売業者を記入する場合、購入できるか事前に販売業者に対し確認を行ってください。）

免税証について、希望する券種とその枚数を組み合わせて、所要数量となるよう申請してください。（券種や枚数が多いほど管理が煩雑になります。）
※ 使用予定数量が、算出基礎等で算出した数量を下回ると予想される場合は、各免税証の枚数及び所要数量の合計数量を調整してください。

計	14	1.940
---	-----------	--------------

参	前回交付を受けた免税証		前回交付を受けた免税証のうち使用量		(ア) - (イ)
	計 算 期 間	数 量 (ア)	期 間	数 量 (イ)	
	令和 △年 4月 1日 から ○年 3月 31日 まで	1.730 リットル	令和 △年 4月 1日 から ○年 2月 23日 まで	1.500 リットル	230 リットル

2回目以降の申請の時は、前回交付を受けた内容（期間、免税証数量）を記入してください。（免税軽油使用者証の裏面参照）

2回目以降の申請の時は、前回交付を受けた免税証の使用数量（申請時点や直近報告済分までの使用実績等）を記載してください。（免税軽油受払簿（別紙様式6号）の免税証受払実績を参考に記入）

事務所に免税軽油使用者証を提示して一通提出すること。

- 「※処理事項」欄は、申請者において記載することを要しないこと。
- 「機械、車両又は設備名（番号）」欄には、免税軽油使用者証に記載された機械、車両又は設備名の番号のみを記載すること。なお、共同申請の場合には第16号の22様式の記載のみをもって足りるものであること。
- 所要数量の計算の基礎については、最近の実績、生産量、稼働日数、稼働時間等により明細に記載した計算書（第16号の22様式の「共同申請明細書」を提出する場合は各個人ごとの計算書）を必ず添付すること。